取説番号 878H016

AUT／AUTA・AUR／AURA取扱説明書

（取付説明は別紙を参照下さい）

《工事店様へお願い》
取付・調整の後、本書をお客様にお渡し下さい

<table>
<tr><th rowspan="2">錠種</th><th rowspan="2">取付時の状態
（非通電時）</th><th rowspan="2">通電時
（制御盤との組合せ）</th><th colspan="2">当社ＢＡＮ－ＡＳとの組合せた例</th></tr>
<tr><th>解錠釦操作時</th><th>閉扉時（自動施錠）</th></tr>
<tr><td>１．ＡＵＴ
（通電時解錠型）</td><td>・閉扉にて施錠
・室内側、室外側ハンドル（握り玉）とも固定</td><td rowspan="2">・室内側、室外側ハンドル（握り玉）ともフリーで解錠</td><td rowspan="4">・解錠表示点灯（点滅）
・室内側、室外側ハンドル（握り玉）ともフリーで解錠
・扉を開けると開扉信号が点灯</td><td>・解錠表示消灯
・室内側、室外側ハンドル（握り玉）とも固定</td></tr>
<tr><td>２．ＡＵＴＡ
（通電時解錠型
指定側常時解錠タイプ）</td><td>・閉扉にて施錠
・室外側ハンドル（握り玉）のみ固定</td><td>・解錠表示消灯
・室外側ハンドル（握り玉）のみ固定</td></tr>
<tr><td>１．ＡＵＲ
（通電時施錠型）</td><td rowspan="2">・室内側、室外側ハンドル（握り玉）ともフリーで解錠</td><td>・閉扉にて施錠
・室内側、室外側ハンドル（握り玉）とも固定</td><td>・解錠表示消灯
・室内側、室外側ハンドル（握り玉）とも固定</td></tr>
<tr><td>３．ＡＵＲＡ
（通電時施錠型
指定側常時解錠タイプ）</td><td>・閉扉にて施錠
・室外側ハンドル（握り玉）のみ固定</td><td>・解錠表示消灯
・室外側ハンドル（握り玉）のみ固定</td></tr>
</table>

【ご注意】

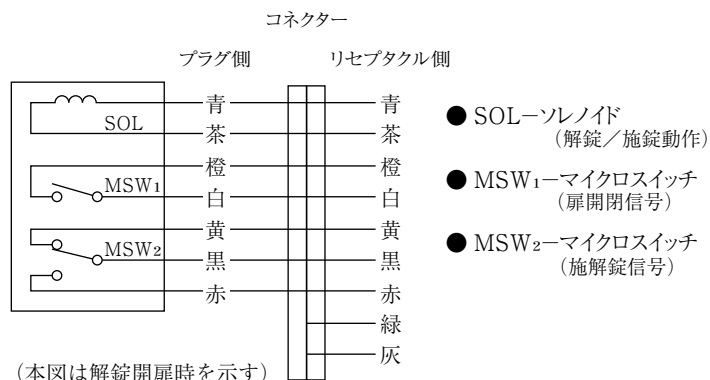
・ＡＵＴ、ＡＵＴＡの場合：停電及び断線時は電気的には解錠できませんが、キーやサムターンにて解錠可能です。
・ＡＵＲ、ＡＵＲＡの場合：停電及び断線時は解錠状態となります。キーやサムターンでの施錠は出来ません。
・キーやサムターンで解錠した場合、ハンドル（握り玉）を回すまで解錠状態のままです。
　・ハンドル（握り玉）を回すことで施解復帰します。
　・キーやサムターン、電気的制御では施錠しません。
・電気的な解錠操作を行っても実際に扉を開けなかった場合は、制御盤の設定時間を過ぎた時点で施錠となります。
・両開き扉の場合は、受け座側扉をフランス落し等で固定した状態で施錠して下さい。固定せずに施錠し、無理に扉を押し開くと錠が破損します。
・レバーハンドル用ケースと握り玉用ケースを共通にしたため、レバーハンドルの場合も上下どちらの方向にも操作可能です。

【電気仕様及び内部回路】

<table>
<tr><th>名　称</th><th colspan="4">定　格</th></tr>
<tr><td>ソレノイド
（解錠動作）</td><td>電　圧
DC24V
（±20%）</td><td>電　流
0.3A
（±20%）</td><td>通電時間
連続</td><td>通電率
1</td></tr>
<tr><td>マイクロスイッチ
（扉開閉信号）</td><td>電　圧
DC24V</td><td>電　流
2mA~100mA</td><td colspan="2">有効チリ寸法
6mm以内</td></tr>
<tr><td>マイクロスイッチ
（施解錠信号）</td><td>電　圧
DC24V</td><td>電　流
2mA~100mA</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>リード線</td><td colspan="4">長さ400mm（９Ｐコネクター付）
AWG－24UL1007耐熱ビニール電線</td></tr>
</table>

（本図は解錠開扉時を示す）

● SOL－ソレノイド（解錠／施錠動作）
● MSW_1－マイクロスイッチ（扉開閉信号）
● MSW_2－マイクロスイッチ（施解錠信号）

取説番号	878H016

【お願い】

・錠の動作や操作が取扱説明書どおりに行なわれない場合は、以下の確認を行なってください。
・以下の確認修正を頂いても正常な動作にならない場合は、最寄りの当社営業所にご連絡ください。

チェック項目

1．電気錠取付け時（電源ＯＦＦ時）のチェック【建具工事】	結　果	備　考
1－1　設計仕様は錠種と合致しているか。 （ａ）錠種、品番は設計どおりか。		
1－2　錠種の設定および勝手が設定スイッチ通りになっているか。 （ａ）設定スイッチを変更した際、制御盤の電源を落としてから行ったか。 （電源を落とさずに行った場合は一度制御盤の電源を落としてから、再び電源を入れた後正常に動作するか確認。）		
1－3　扉の状態は正常か。デッドボルトが正しく突出しているか。 （ａ）扉のねじれ・ゆがみ等で、デッドボルトがストライクの穴にあっていないのではないか。 （ｂ）扉の反発により、デッドボルトがストライクの穴にあっていないのではないか。 （ｃ）錠前側の縦チリは6mm以内か。		
1－4　ケースの取付け状態は良好か。デッドボルトがスムーズに出入りするか。 （ａ）フロントが扉面に正しく納まっているか。		
1－5　シリンダーの取付け状態は良好か。 （ａ）ＭＩＷＡマークが上になっているか。 （ｂ）ガタツキがないか。		
1－6　ハンドル（握り玉）の取付け状態は良好か。 （ａ）ガタツキ・ゆるみはないか。 （ｂ）動きはスムーズか。		
1－7　ストライクの取付け状態は良好か。 （ａ）取付方向は正しいか。 （ｂ）マグネットの位置は正しいか。 （ｃ）デッドボルトとストライクの穴との位置は正しいか。上下、前後。		
1－8　通電金具の取付け状態は良好か。 （ａ）通電金具と丁番の軸心があっているか。 （ｂ）通電金具が扉反発の原因となっていないか。		
1－9　扉内の結線は正しくされているか。 （ａ）電気錠と通電金具の間の結線は結線図どおりなされているか。 （ｂ）コネクター付通電金具を使用している場合は、コネクターがしっかりはまっているか。 （ｃ）断線はないか。		
1－10　扉を閉じた状態での電気錠の動作チェック （ａ）錠種の動作確認表どおりの状態（取付け時の状態）になっているか。 （ｂ）シリンダー、サムターン、ハンドル（握り玉）、デッドの動きがスムーズか。		

2．操作盤の取付け、配線、電源をＯＮにした時のチェック【電気工事】	結　果	備　考
2－1　操作盤の仕様が錠種と合致しているか。 （ａ）錠が操作盤の適用錠に含まれているか。 （ｂ）錠種に操作盤の錠種設定を合わせてあるか。		
2－2　結線は正しくされているか。 （ａ）通電金具と操作盤の間の結線は、結線図通りになされているか。 （ｂ）コネクターを使用している場合は、コネクターがしっかりはまっているか。 （ｃ）断線はないか。 （ｄ）配線長さに見合う太さの線を使用しているか。（0.3mm²で９０ｍまで）		
2－3　電源を投入すると電源ランプは点灯するか。		
2－4　扉を閉じると （ａ）錠種にあった動作が確実に行われるか。 （ｂ）閉扉ランプが点灯する（又は、開扉ランプが消灯する）か。		
2－5　解錠釦を押すと （ａ）解錠ランプが点灯する（又は、施錠ランプが消灯する）か。 （ｂ）錠種の確認表の動作が確実に行われるか。 （ｃ）扉を開けると閉扉ランプが消灯する（又は開扉ランプが点灯する）か。		